

事業報告書

<目次>

1. 今年度の事業方針について
2. 事業報告
 - (1) 成果と総括
 - (2) 事業に関する事項
 - (3) 運営に関する事項

<1型糖尿病&インスリンフレンズの会 2025年度 事業報告>

1. 今年度の事業方針について

2025年度は、糖尿病からダイアベティスへの呼称変更については、話題に上がらなくなっており、薄れつつあります。

日本糖尿病学会は、岡山県にて開催され、2回目となる当事者さんの声をきくが開催され、今後も開催の予定となり、医療者と糖尿病をもつひととの対話の場の重要性や機会が増えていく、定着しはじめる年となりました。

このような社会的動きの中、当会では、オンライン開催の「糖尿病おしゃべり飲み会（途中からおしゃべり会に変更）」を継続的に実施し、当事者が思いや気持ちを安心して語れる場を提供してきました。参加者からは、「心が軽くなった」「自分だけではないと感じられた」「安心して転院できた！」などの感想が寄せられ、糖尿病の型を問わず、つながりを深める貴重な交流の場となったと感じています。

また、地域との連携にも取り組み、クイズラリーでは川越の方々から集められたフリーマーケット開催など、当事者や地域の人々との接点を持つ機会が広がった一年でもありました。

会員制度を整えるに関しては、十分ではありません。ホームページからグーグルフォームのみの会員登録でしたが、メールを使いこなせていないため、公式LINEアカウント、Instagramなど繋がりがやすくしました。

2026年度は、より広く発信し、多くの方に当会の存在を知っていただき、糖尿病の実際を知らない方へ知っていただく面で、代表は、noteにて発信を始めました。今年は情報発信を含め無理せず活動を継続していくことを目指します。単なる情報交換にとどまらず、それぞれが人生のステージが変化してきて忙しくなってもおり、参加者は減ってはおりますが、力がついてきてる。この場をより知ってもらい「自分自身の理解」など、より深い対話と交流の機会を大切にしていきたいと思います。

「クイズラリー」。とくに川越を拠点に、地域に暮らす当事者や関係者とのつながりを増やし「1型糖尿病&小江戸川越クイズラリー」をより効果的な啓発活動として、地域を巻き込みながら実施してまいります。今回は、お店に応募箱を設置いただき、いつでも参加できる。いつでも応募できる。間口を広げます。

団体として自立していくことをより明確にしながら、定例会を設けるなど、より持続可能な活動体制を確立していく方針です。

2. 事業報告

(1) 成果と総括

2025年度は、団体に入りやすくするため、公式ホームページにInstagram、公式LINEアカウントのリンクを新たに追加いたしました。

また、それによりオンラインおしゃべり会へ自力で参加してくださる方が3名様ほど、おりました。また、銀行口座を設けたことで、寄付金を受け取りやすくなりました。同じ思いを持つ方々との交流が増え、会の方向性がより明確になり、協力体制の土台も築かれつつあります。

(2) 事業に関する事項

①「1型糖尿病&小江戸川越クイズラリー2025」

目的：

- 1型糖尿病および糖尿病全体の啓発
- 発症者の孤立防止
- 川越観光の促進
- 身体を動かす機会の提供
- 看護学生ボランティアによる現場体験と研修機会の提供
- 他の糖尿病に関わる団体との協力

実施概要：

- 開催日：2025年11月1日（土）～15日（土）
- 受付・ゴール設置日・場所：
1日・2日・15日 小江戸蔵里 屋外広場
- 期間中受付せずとも、いつでも参加できる体制に変更。

クイズ掲示店舗（15店舗）：

1. きょうのごはん ゆるりCafe
 2. チラズランド
 3. Pâtisserie titi
 4. AYANOKA
 5. 川越タルト 大正浪漫夢通り店
 6. 六軒町一丁目商店
 7. 六軒町バルgrill
 8. 名代松山だんご
 9. もつ煮のまつい川越店
-
10. 大黒屋食堂
 11. トシノコーヒー
 12. 道灌
 13. ruriro
 14. 養生めし 菜の香
 15. アークジュエリースタジオ

※協力店舗数は、昨年の9店舗から15店舗に増加

- 参加者数：約300名

チラシと解答用紙を昨年度まで別にデザインしてプリントしていたが、経費削減・参加しやすく・参加者数増加・知らない人に知ってもらいやすくするためにチラシに解答欄を設けた。チラシにクイズの答えを記入すると店舗の特典を利用できることとした。

クイズ掲示の管理、観光案内所にチラシ設置。手に入れやすく、参加しやすくなった所感あり。

現地ゴールとSNSで抽選応募が可能でイベントの拡散を図った。

糖尿病のクリニックなど、川越市内掲示板や図書館・公民館を中心に配布し、学校にはあまり配らず、広くチラシを置いてもらった。

成果：

当会主催としては4回目の開催となり、継続事業としての定着が見られました。

今回は開催日数を15日間に拡大したことにより、より多くの参加機会を提供できました。特に、リピーターや口コミ・観光がてら、通りがかりでの参加が多く見られました。

参加者の属性としては、1型糖尿病の当事者やそのご家族、関心を寄せてくださった方が約割を占め、残り割は観光目的やクイズラリー自体への関心でのご参加でした。地域に根ざして、認知が広がってきている、定着してきている所感があります。

感想として、

- 「観光しながら学べて楽しかった」
- 「初めて1型糖尿病のことを知った」
- 「よい運動になった」
- 「改めて病気への理解が深まった」

など、啓発活動としての意義を実感できる声が多数寄せられました。

2026年度は、継続開催を目指し、糖尿病仲間や川越市在住の協力スタッフを増やし、継続的かつ地域密着型の企画運営を進めてまいります。

改良の余地ありな点：

参加者は約300名。最大の参加者数となった。3箇所ある観光案内所に設置いただくことは、大きい。アトレ川越店にも置かせてもらい、駅周辺でのチラシ入手の効果が、蔵里近くでチラシ配りした際にすでに持ってらっしゃる方がちらほらおられた。

参加者よりも、協力者をいかに見つけるか。

リピートスタッフしてくださる方がていちやくしてきており、ありがたい。確実に来れるメンバーを最低3名は確保したい。前もって、声かけをする。

メンバーも仕事などで忙しくなっており、継続メンバーの確保が課題となっている。

(3) 運営に関する事項

2025年度は、埼玉りそな銀行口座では、寄付金1件、吉田へ直接手渡し1件、吉田声掛けにより1件。協賛金を受け入れることができました。活動資金として活用できる体制が整いました。

また、糖尿病を持つ方々がより生きやすい社会の実現に向けた外部連携にも取り組みを開始しています。

無料会員有料会員は、結局作っておりません。フリーマーケットによる収入が大きく、皆様からの品物のご提供をいただけると幸いです。

2026年度は、定例会を設け、運営方針を都度都度検討、していきたい。

今後も、「学び」と「つながり」の両面から信頼ある関係を育み、

****「人や社会とつながる・ひろめる・育ちあう」****ことを大切に、持続可能な運営を進めてまいります。